

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。
この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院
で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問
い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない
場合もありますのでご了承ください。

※情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	栄養指標を組み合わせた栄養評価法が肝細胞癌術後の予後予測因子となり得るかの検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 肝胆膵・乳腺外科 (職名) 助教 (氏名) 上野義智
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日
対象となる方	2003 年 10 月から 2024 年 3 月に愛媛大学医学部附属病院で手術を受けた方のうち肝細胞癌と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	外科手術を受ける方の術前の栄養状態が、術後の予後を予測する因子となり得るとの報告が以前からなされています。代表的な栄養指標として C-reactive protein to albumin ratio(CAR)、Neutrophile-lymphocyte ratio(NLR)、Platelet-lymphocyte ratio(PLR)、Prognostic nutrition index(PNI)等があります。今回、愛媛大学肝胆膵・乳腺外科で手術を受けて肝細胞癌と診断された患者さんについて、すでに採取されている血液検査結果から栄養指標を調べて、手術後の予後との関連を検討し、栄養指標が手術後の予後予測因子となり得るのかを評価したいと考えています。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたし

	ます。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科 上野義智 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960-5327